

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 09104621 A

(43) Date of publication of application: 22.04.97

(51) Int. Cl

A61K 9/50

A61K 9/28

A61K 47/30

(21) Application number: 07294633

(71) Applicant: BENTORETSUPU SANTE KK

(22) Date of filing: 06.10.95

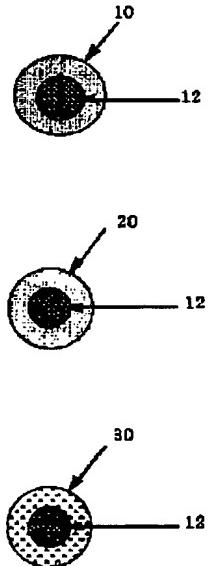
(72) Inventor: IMANISHI SHOGO

(54) MEDICINE COATED WITH GELATINIZING AGENT, LUBRICATING AGENT AND LUBRICANT

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject agent readily applicable even to a person lying on one's side, an elderly person weak in spitting power and a young person, capable of alleviating and preventing the side effect of a main medicine, by coating the surface of the main agent with a gelatinizing agent, a lubricant, etc.

SOLUTION: This medicine coated with a gelatinizing agent, a lubricating agent and a lubricant is obtained by coating the surface of a main agent 12 subjected to necessary treatments such as stability, bondability, solubility, difference in absorption with time, absorption in intestine, etc., with a gelatinizing agent 10, or coating the surface of the main medicine or the main medicine 12 subjected to the necessary treatments with a lubricating agent or a lubricant 20 to become lubricant with water, a liquid or saliva. Or the medicine is obtained by coating the surface of the main medicine or the main medicine 12 subjected to the necessary treatments with a mixture 30 of the gelatinizing agent and the lubricating agent or the lubricant to become lubricant, showing a jellied state with water, a liquid or saliva. When the medicine is administered, addition of a small amount of water or another liquid or wetting with saliva makes the medicine in a jellied state or readily lubricant to facilitate the swallowing of the medicine.



COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-104621

(43)公開日 平成9年(1997)4月22日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

A 6 1 K 9/50  
9/28  
47/30

識別記号

府内整理番号

F I

A 6 1 K 9/50  
9/28  
47/30

技術表示箇所

A  
Z  
D  
F

審査請求 有 請求項の数2 書面 (全3頁)

(21)出願番号

特願平7-294633

(22)出願日

平成7年(1995)10月6日

(71)出願人 593169382

ペントレップ・サンテ株式会社  
東京都町田市金森1748番地8

(72)発明者 今西 省吾

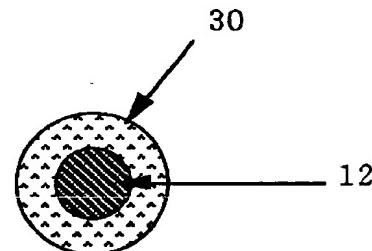
東京都町田市金森1748番地8 ペントレップ・サンテ株式会社内

(54)【発明の名称】 ゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆した薬剤

(57)【要約】

【課題】 横臥している人、嚥下する力が弱っている高齢者、年少者でも容易に服用できるようにしたゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆した薬剤を提供する。

【解決手段】 主薬または必要な処理を施した主薬12のまわりに、ゼリー状を呈するゲル化剤10、または滑りやすくする滑沢化剤或いは滑沢剤20、またはゼリー状を呈し滑りやすくするゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤の混合物30を被覆した薬剤。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 主薬或いは主薬の安定性、結合性、溶解性、時差吸収、腸吸収等に必要な処理を施した主薬に、ゲル化剤或いは滑沢化剤或いは滑沢剤を主薬の特性や目的に応じて单一或いは混合物として主薬のまわりに付着させ或いは付着させて被覆し、服用時に必要な水分又は液体を添加し或いは唾液で、被覆した薬剤表面をゼリー状となし或いは滑りやすくして薬剤の嚥下を容易にするゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆した薬剤。

【請求項2】 主薬或いは製剤化に必要な処理を施した主薬が苦味などを呈したり、胃腸などで副作用を呈する薬剤であれば、ゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤、或いはこれらの混合物にあらかじめ服用しやすいように嗜好の味付けをしておくことで服用時の苦味を緩和或いは回避したり、更に主薬の副作用を軽減或いは防止するために、必要に応じて主薬の副作用を軽減或いは防止するような薬剤、医薬品添加物、或いは食品成分を含有させることを特徴とするゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆した薬剤。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆して服用するようにした薬剤に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 現在認可されている剤型には粉剤、顆粒剤、錠剤、丸剤、カプセル剤等、25種のものがあるが、それらは横臥している人、嚥下する力が弱っている高齢者、年少者などにとって嚥下に多量の水分摂取が必要であったり、食道壁に薬剤が付着するなど、服用するのが困難な場合がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、斯様な点に鑑み、上記の様な人でも容易に服用できるようにしたゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆した薬剤を提供することを目的とするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 すなわち、本発明に係るゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤或いはこれらの混合物を被覆した薬剤は、水や他の液体を少量添加することで、或いは唾液で湿潤させることで薬剤表面がゼリー状になりまたは滑りやすくなることを特徴とする。

【0005】この薬剤は、水または他の液体を少量添加することで或いは唾液で薬剤の被覆面がゼリー状や滑りやすい状態になるので、服用者は無理なく服用することができる。

【0006】薬剤を被覆しているゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤或いはこれらの混合物は、半乾燥状態または乾燥状態として製剤化し、高齢者や年少者にとり服用しづらい薬剤の苦味を緩和または回避のために味付けをした

り、胃腸などの虚弱な人や疾病を患っている人には必要に応じて主薬の副作用を軽減或いは防止するような薬剤や医薬品添加物や食品等を含有させることもできる。例えば、胃壁や腸管壁を荒らすアスピリンなどの主薬には胃腸壁保護剤を、また抗生物質や化学療法剤などの主薬の服用による腸内細菌の乱れに乳酸菌製剤を被覆剤に添加する。

## 【0007】

【発明の実施の形態】 本発明のゲル化剤や滑沢剤にはアカシア、カーポマー、カルボキシメチルセルロースカルシウム、カルボキシメチルセルロースナトリウム、コロイド状二酸化ケイ素、ベントナイト、ポビドン、ポロクサマー、マンニトール、ステアリン酸カルシウム、セトステアリルアルコール、寒天、ゼラチン、微結晶セルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、こんにゃく、コラーゲン、ペクチン、デキストリン、アルギン酸、アルギン酸ナトリウム、プロピレングリコールアルギネート、アラビアガム、ガティガム、カラギーナン、カラヤガム、キサンタンガム、グアガム、サイクロデキストリン、スクレオグルカン、タマリンド種子多糖類、タラガム、デンプン、アルファ化デンプン、トラガントガム、とろろあおい、微小纖維状セルロース、ファーセレラン、ブルラン、ムチン、トロロイモの粘質物、アルブミン、ローストビーンガム、アロエベラなどがある。

## 【0008】

【実施例】 以下、本発明の実施例を添付図面に基づき説明する。

【0009】図1は、主薬または必要な処理を施した主薬12のまわりに水或いは液体または唾液で容易にゼリー状となるゲル化剤10を付着或いは被覆したものからなる薬剤である。

【0010】図2は、主薬または必要な処理を施した主薬12のまわりに水或いは液体または唾液で滑りやすくなる滑沢化剤または滑沢化剤20を付着或いは被覆したものからなる薬剤である。

【0011】図3は、主薬または必要な処理を施した主薬12のまわりに水或いは液体または唾液でゼリー状を呈するゲル化剤と滑りやすくなる滑沢化剤または滑沢剤の混合物30を付着或いは被覆したものからなる薬剤である。

## 【0012】

【発明の効果】 本発明に係るゲル化剤、滑沢化剤、滑沢剤を被覆した薬剤は、上記の如き構成を有するものであり、薬剤を服用するに際しては、水や他の液体を少量添加することで、或いは唾液で湿潤させることでゼリー状になりまたは滑りやすくなつて薬剤の嚥下を容易にすることができる。

## 50 【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第一の実施例に係るゲル化剤を被覆した薬剤を示す側面図。

【図 2】第二の実施例に係る滑沢化剤または滑沢剤を被覆した薬剤を示す側面図。

【図 3】第三の実施例に係るゲル化剤および滑沢化剤または滑沢剤の混合物を被覆した薬剤を示す側面図。 \*

\* 【符号の説明】

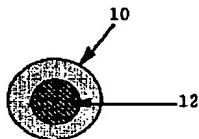
10・・・被覆したゲル化剤

12・・・主薬または必要な処理を施した主薬

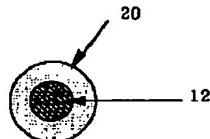
20・・・被覆した滑沢化剤または滑沢剤

30・・・被覆したゲル化剤および滑沢化剤または滑沢剤の混合物

【図 1】



【図 2】



【図 3】

